

平成30年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験（第二次選考試験）選考基準

○選考方法

第二次選考試験においては、面接試験等及びその他提出された書類等により総合的に判定する。

○各試験の選考基準等

試験項目	試験区分	選考基準			満点				
		評価の観点	評価の主な着眼点	評価	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭	養護教諭
児童生徒への模擬指導等	全試験区分	①教育の専門家としての指導力	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒等の思いや立場を理解する力を有しているか 教科等の専門性を生かし、児童生徒等の実態に即して、自主性・自律性を育む指導を行うことができるか 問題を柔軟に思考・分析し、解決方法を具体的に構想することができるか 指導内容、指導方法が児童生徒等の心に響くものであり、主体的な活動を引き出す指導となっているか 	A～Eの5段階で総合評価	240	240	240	240	240
		②教育に対する情熱・鳥取県の教員としての使命感	<ul style="list-style-type: none"> 教育的愛情・信念を持って児童生徒に接しようとしているか 鳥取県の教員としての誇り、責任感を持って教育に携わろうとしているか 表情豊かに熱意を持って、自分自身の考えを伝えることができるか 鳥取県の将来を見据え、児童生徒が新たな価値を創造するなど、未来を創造する力を育成しようとしているか 						
		③豊かな人間性	<ul style="list-style-type: none"> 感性豊かで温かく、人間的な魅力を有しているか 豊かな教養と人権意識を身につけ、バランスのとれた判断ができるか 児童生徒の知的好奇心を喚起することができるか 						
面接試験 (集団面接) (個人面接)	全試験区分	①教育に対する情熱・鳥取県の教員としての使命感	<ul style="list-style-type: none"> 教育的愛情・信念を持って児童生徒に接しようとしているか 鳥取県の教員としての誇り、責任感を持って教育に携わろうとしているか 常に向上心を持って自己研鑽に努めようとしているか 鳥取県の将来を見据え、児童生徒が新たな価値を創造するなど、未来を創造する力を育成しようとしているか 	A～Eの5段階で総合評価	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180
		②教育の専門家としての指導力	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の思いや立場を理解する力を有しているか 教科等の専門性を生かして、主体的に学ぶ力や協働的に取り組む力を育むような指導を行うことができるか 児童生徒の実態を踏まえながら自主性・自律性を培い、社会的自立に向けた力を育むような学級経営を行うことができるか 豊かな発想力や状況に応じて創意工夫する力を有しているか 						
		③豊かな人間性・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 感性豊かで温かく、人間的な魅力を有しているか 豊かな教養と人権意識を身につけ、バランスのとれた判断ができるか 社会人としての常識、規範意識を有しているか 礼儀やマナーをわきまえた対応ができるか 						
		④チャレンジ性・協調性	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育上の課題に対して、チャレンジ精神を持って取り組むことができるか 幅広い視点で物事に柔軟に対応することができるか 組織の一員として、協力しながら教育活動に取り組むことができるか 						
		⑤人間関係能力	<ul style="list-style-type: none"> 明朗で、丁寧に対応することができるか 相手の考えを受け止めながら、自分の考えを的確に伝えることができるか 						
適性検査	全試験区分	※判定のための参考資料							